# 機能水ニュースレター　　No. 133

2026 年 9 月 14 日発行　一般財団法人機能水研究振興財団　編集担当　堀田国元・中藤誉子

協力:日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター



〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8　Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp　ホームページ: http://www.fwf.or.jp



**お知らせ**：機能水研究振興財団：理事・監事・評議員・顧問 . . . . . 1

**報告**：　東京農業大学食品安全研究センター研究会 2026 年度講演会. . 2

日本防菌防黴学会第 53 回学術大会. . . . . 2

**お知らせ**：迅速検査研究会：第 1 回環境モニタリング特別講座 . . . . . 3

日本機能水学会第 24 回学術大会 . . . . . 4

2026 年度機能水記念賞授賞式の開催について . . . . . 6

生物安全実践講習会第 8 回基盤コース . . . . . 7


## 機能水関連カレンダー

| | | |
|---|---|---|
| 迅速検査研究会:第 1 回環境モニタリング特別講座 | 2026 年 10 月 8 日(木) | 東　京顕微鏡院(東京) |
| 日本機能水学会第 24 回学術大会 | 2026 年 11 月 7･8 日(土･日) | 京都鉄道博物館(京都市) |
| 日本電解水協会セミナー | 2026 年 11 月 18 日 (水) | 日比谷図書文化館 (東京) |
| 生物安全実践講習会第 8 回基盤コース | 2026 年 12 月 18 日(金) | 北里大学白金キャンパス |

## ＜お知らせ＞　　(一財)機能水研究振興財団: 新期理事･監事･評議員

**理事** 14 名（重任 10 名、新任 4 名）:　任期 2 年（2026 年 6 月～2028 年 6 月）

重任：　堀田国元（理事長：（一財)機能水研究振興財団）
小室 昭 （常務理事： 元㈱サンフコ)、　佐藤勉（常務理事： 東海大学医学部)、
石井良和（広島大学)、　石渡幸則（(一社)日本電解水協会)、
岩澤篤郎（東京医療保健大学)、　川口寿之（(一社)日本有機資源協会)、
菊地憲次（(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)、　戸室淳治（サラヤ㈱)、
錦善則（デノラ・ペルメレック㈱)

新任：　五十君静信（東京農業大学総合研究所)、　田原周夫㈱トリム)、
中野隆史（大阪医科薬科大学医学部)、　古畑勝則（麻布大学名誉教授）

**監事**　2 名：　任期 4 年（2026 年 6 月～2030 年 6 月）

重任：　宮下奈穂、八木澤守正

**評議員** 9 名（重任 6 名、新任 3 名）:　任期 4 年（2026 年 6 月～2030 年 6 月

重任：　荒川真一（東京科学大学名誉教授)、　才原康弘（(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)、
冨田　守（㈱デイリーテクノ)、　堀　晋司（コロナ工業㈱)、
村松光二（興研㈱)、　吉川敏一（(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)、

新任：　菊野理津子（(一財)北里環境科学センター)、　四ノ宮成祥（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所）
藤原功一（(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター）

＊**顧問 就任** 3 名：　川村延彦（元評議員)、小宮山寛機（元評議員)、森澤紳勝（元理事）

## ＜報告＞　　東京農業大学食品安全研究センター研究会＊ 2026 年度講演会

2026 年 7 月 14 日(火)、標記の講演会が東京農業大学世田谷キャンパス国際センター榎本ホールにて開催され、堀田国元 機能水研究振興財団理事長が、「食品安全に用いることのできる機能水について」の演題で講演した。講演は、最初に「機能水とは何か」について説明の後、下表に示す項目に従って進められた。内容は、YouTube（https://www.youtube.com/watch?v=EpruiFSqBVY）で視聴できる。



**食品安全に用いることのできる機能水について**

1. 食品添加物殺菌料認可指定機能水：「次亜塩素酸水」
   - 食品添加物(殺菌料)指定までの道程
   - 酸性電解水(次亜塩素酸水)の種類、物理化学的性状、有効性、安全性
2. 次亜塩素酸水生成装置のJIS規格
   - 生成装置の標準化について： 指針(業界自主基準)とJIS化について
   - 用法用量について： 食品添加物公定書関連など
3. 次亜塩素酸水の食品分野における利活用
   - HACCPと次亜塩素酸水
   - 新技術開発： ダイヤモンド(BDD)電極：有効塩素濃度のリアルタイム測定
   - 普及状況について： スーパー等、その他



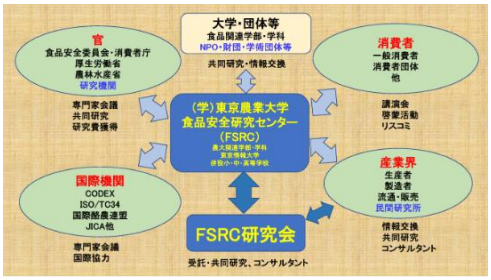

https://youtu.be/EpruiFSqBVY

**＊東京農業大学食品安全研究センター研究会**（https://www.nodai.ac.jp/fsrc/field/）

センターは 2022 年 4 月、同研究会は 2023 年 4 月に設立。
目的：産官学協力研究事業その他これに関連する事業の発展
　　*生産から消費・健康までの食の安全と安心を科学する
センター長： 五十君静信 東京農業大学総合研究所教授

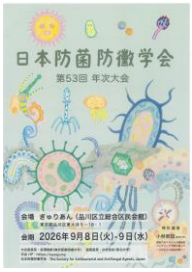


事務室：TEL 03-5477-2632、FAX 03-5477-2730
fsrc@nodai.ac.jp　https//www.nodai.ac.jp/fsrc
東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学 8 号館 1F




## 日本防菌防黴学会第 53 回年次大会　https://saaaj.org/#meeting

2026 年 9 月 8 日(火)・9 日(水)、きゅりあん(品川区立総合区民会館)において岩澤篤郎教授(東京医療保健大学)を大会長として開催された。防菌・防黴・抗ウイルスを共通テーマに、食品、医療、環境、材料、建築、衛生管理など研究者・技術者による学際的な年次大会となった。プログラム概要は以下の通り。




●基調講演:「防菌防黴学会の今まで、今後の展望」 菊野理津子　学会長
●パネルディスカッション:「高齢者施設等における感染対策の現状と課題解決に向けて」
　高齢者施設の現状と学会が関与する意義(菊野理津子)、新興再興感染症への日頃からの備え(岡部信彦)
　空調・換気設備、室内空気環境の現状(開原典子)、高齢者施設における生活用水のレジオネラ汚染(堀井隆志)
●シンポジウム： 1:「食品衛生と人工水環境の衛生対策」、　2:「微生物制御と活性酸素」
　3:「滅菌、殺菌、除菌の現状と今後の展望」、 4:「微生物試験法および簡易迅速試験法関係」
●特別講演:「新型コロナウイルス感染症パンデミックを振り返って ーこれからの感染対策へー」小林寅喆(東邦大学)
●学会賞受賞講演:「無機酸化物および焼成貝殻粉末を基盤とした抗菌・抗真菌材料に関する研究」 澤井淳(神奈川工科大)
●研究賞受賞講演:「生活環境および自然環境における微生物の特性把握と微生物制御に関する研究」 佐々木美穂(関西大学)
●基礎講座 1:「なぜ真菌試験は難しいのか？ 基礎から学ぶ取り扱いと試験法」久米田裕子(NPO 法人カビ相談センター)
　2:「細菌試験の基礎と落とし穴 ― 培養・操作・試験法の “なぜ”が分かる」坂上吉一(元近畿大学)
　3:「ウイルスって何？ ウイルスの正体を知ればその試験法が理解できる」信澤枝里(国立健康危機管理研究機構)
●一般発表： 口頭およびポスター

＜お知らせ＞　　迅速検査研究会

国際標準の「環境モニタリング」＝リスク予防のための早期警戒システム！！

# 第１回　環境モニタリング　特別講座

## ～ふき取り検査で HACCP/衛生管理の PDCA を回そう～　主催：迅速検査研究

海外では、RTE 食品でリステリア・モノサイトゲネス（LM）による食中毒が頻発していることから、その対策の一環として、環境からの LM の汚染対策として、LM の指標として有効なリステリア属菌の検査を行い、環境中の汚染状況を継続的に監視し、必要に応じて改善する――という「環境モニタリング」の考え方が浸透しています。この考え方は LM 以外の食中毒の予防、ひいては一般衛生管理の PDCA サイクルを回す上でも十分に参考になります。

ぜひ、本講習会にご参加いただき、皆様の現場の衛生管理改善のヒントとしてお役立てください。

●主な内容●

【講義の部】
①リステリア症のリスクを知る　迅速検査研究会 理事 霜島 正浩（株式会社スギヤマゲン）
②国際的な「環境モニタリング」の考え方とアプローチ ～コーデックス「食品衛生の一般原則」などを基に～
FSMS 審査員＆トレーナー（HACCP、GMP、SQF 等） 長谷川 慶子
③食物アレルゲンの管理と検査　株式会社つくば食品評価センター（プリマハムグループ） 加藤 重城

【実習の部】リステリア／食物アレルゲン／そのほか各種衛生指標のふき取り検査を体験していただきます
・遺伝子手法を用いた病原菌検査 病原菌自動検出装置（MDS）（Neogen、ネオジェンジャパン）
・簡便迅速なタンパクふき取り検査キット フキトリマスター（エア・ブラウン）
・スワブを用いた病原菌検査キット（リステリア、サルモネラ） InSite L. mono Glo、Insite Salmonella（Hygiena、ニッタ）
・イムノクロマト法によるアレルゲン検査キット 「アレルゲンアイ」シリーズ（つくば食品評価センター）
グルテン検査キット「AllerFlow Gluten」（Hygiena、ニッタ）
・イムノクロマト法による細菌検査キット 迅速細菌検査キット「BacNavi」（旭化成）
・ATP ふき取り検査 ルミテスターSmart（キッコーマンバイオケミファ） その他 （予定）

**■日時　2026 年 10 月 8 日(木) 10 時～17 時**（午前：講義、午後：実習）（受付開始 9 時 30 分～）

**■会場　一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所**（東京都中央区豊海町 5-1）

**■定員　24 名**（先着順、最低催行人数：10 名）
※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。 ※学生の方もお申し込みもいただけます。
※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させていただく場合があります。

**■受講費　会員 5,000 円、一般 10,000 円**（不課税）
※受講費は当日、会場にて受け付けます（開催前または開催後の振込を希望の場合は、対応可能）
※受講者には修了証を発行いたします。
※迅速検査研究会はインボイス制度適格請求書発行事業者として登録していません。

**お申込み方法**
下記の項目を明記の上、下記へ E メールにてお申込みください。
1. 住所、2. 所属・役職、3. 氏名（ふりがな）、 4. E－mail、 5. 電話番号、
7. 会員 or 一般 （会員＝迅速検査研究会の賛助・法人会員企業、機能水研究振興財団の関係者）

Eメール： info@jinsokukensa.com

**お問い合わせ** 迅速検査研究会 事務局担当：立石（たていし） TEL：090-2907-5456

Google Form＜ https://x.gd/4TASE ＞
右の QR コードからもお申し込み頂けます

# 日本機能水学会第 24 回学術大会

※第 28 回日本口腔機能水学会学術大会との共同開催

テーマ：　水滴石穿　～たしかな未来のためのわずかな一歩～

小さな積み重ねをひとつひとつクリアすること。そのための手間は惜しまないこと、1 つの失敗から 10 も 20 も次につながるキッカケを拾うことを続けての今であり、また新たな治験が見えてきての「次」なのです。機能水も然り。機器が同じであったとしても、使う場所やヒトによって様々なシチュエーションが展開し、手間であってもひとつひとつに対応することが次につながり、社会的信頼を少しずつ得られてゆくのではないでしょうか？　今回のテーマはそんな思いからの願い、と感じていただければ幸いです。

大会長：　日本機能水学会第 24 回学術大会　　髙木弘隆先生

日本口腔機能水学会第 28 回学術大会　　井上一彦先生

会期；　2026 年 11 月 7・8 日（土・日）

会場：　京都鉄道博物館３F ホール（下記案内マップ参照）

アクセス：JR 嵯峨野線「梅小路京都西駅」徒歩 2 分、JR「京都駅」徒歩 20 分

収容人数：　対面方式、100 名程度、

参加登録：　すべて事前登録　会員 7 千円、非会員 1 万 1 千円　※参加証で京都鉄道博物館入館できる

※参加申込は、機能水学会 HP から　締切は 10 月中旬

技術交流会：　一律 6 千円（すべて事前登録）　申込は、機能水学会 HP から

※最新情報は、日本機能水学会 HP にて随時更新

＜会場案内図＞




**アクセス**

電車：　嵯峨野線「梅小路京都西駅」
徒歩 2 分
JR「京都駅」中央口より西へ
徒歩約 20 分



**＜プログラム＞　変更の可能性あり: 最新情報は学会HP「学術大会」に随時掲載**

**第 1 日(11 月 7 日)**

**10:30～10:40　開会式**　　挨拶：　日本機能水学会中野隆史理事長、髙木弘隆第 24 回学術大会長

**10:40～11:40　理化学技術セッション 1**

1　人工関節周囲感染における銀ナノ粒子含有キャビテーションプラズマ処理水の有効性
谷　建吾　　大阪医科薬科大学医学部整形外科学教室

2　ウルトラファインバブル測定用塩化ナトリウム溶液の調製条件が粒子挙動および測定再現性に及ぼす影響
梅屋　航平　株式会社 MTG

3　酸化還元電位が異なるアルカリ性電解水の細胞増殖効果と関連遺伝子の探索
寺山　隼人　東海大学医学部

4　薬剤ミスト拡散によるエアロゾル化ウイルス不活性化モデルの検討
錦　善則　　日本医療・環境オゾン学会

**11:40～13:00　昼休み**

**13:00～13:40　機能水研究振興財団　2026 年度（第３回）機能水記念賞　授与式　受賞者講演（スピーチ）**

**13:40～14:10　第 28 回日本口腔機能水学会学術大会　招待講演 1**

光触媒が拓く機能水科学：水中微生物・微量有機汚染物質の制御と口腔保健への展望
花田　信弘　鶴見大学名誉教授

**14:10～14:20　休憩**

**14:20～15:00　日本機能水学会第 24 回学術大会　大会長講演**

「機能水を見つめ、振り返り、未来を考える」
髙木　弘隆　（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター 副センター長

**15:00～16:00　高純度次亜塩素酸水セッション 1**

5　効率的な卵白アレルゲン除去と有効塩素濃度は関係あるのか？－高純度次亜塩素酸水での検討－
渡辺　香織　愛知文教女子短期大学

6　飛沫感染性ウイルスに対する高度次亜塩素酸の不活化効果
上田　瑞木　大阪医科薬科大学薬学部感染制御学研究室

7　高純度次亜塩素酸水中におけるステンレス合金の耐食性
宮村　弘　（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

8　高純度次亜塩素酸水による口腔環境改善効果について－人工ﾊﾞｲｵﾌｨﾙﾑのﾘｱﾙﾀｲﾑ PCR による検討－
佐藤　勉　　東海大学医学部

**16:00～16:10　休憩**

**16:10～16:55　高純度次亜塩素酸水セッション 2**

9　高純度次亜塩素酸水の噴霧後の挙動
菊地　憲次　（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

10　高純度次亜塩素酸水噴霧による病原体不活化効果における湿度の影響
呉　成旭　　（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

11　高純度次亜塩素酸水ミスト噴霧後の室内空間における人に由来するﾊﾞｲｵｴｱﾛｿﾞﾙ発生量の定量評価
長谷川 慎　長浜バイオ大学

**17：30～　　技術交流会**

第 2 日（11 月 8 日）

**10:20～10:50　理化学技術セッション 2 （第 93 回ウォーター研究会）**

12　次亜塩素酸ナトリウム溶液中の酸化活性種と殺菌活性との関連性の検討

芝山　大輝　　芝浦工業大学　理工学研究科　システム理工学専攻

13　ラジカル種に着目した pH 変化に伴う次亜塩素酸ナトリウム溶液の組成変化と塩化物イオンの関係

岸本　鮎太　　芝浦工業大学　理工学研究科　機能制御システム理工学専攻

**10:50～11:05　令和 8 年度機能水研究振興財団研修**

次亜塩素酸水（電解水）を用いた空間浄化に関する指針

第一版　第 2 部（有効性情報編）策定に向けて

両角　久　　機能水研究振興財団賛助会員会合工業部会長

**11:05～11:15　休憩**

**11:15～11:55　第 28 回日本口腔機能水学会学術大会 大会長講演　井上一彦** 先生　日本口腔機能水学会会長

**「28 年の歴史が紡ぐ未来 - 機能水研究の新たな融合 - 」**

**11:55～13:00　昼休み**

**13:00～13:40　日本機能水学会第 24 回学術大会特別講演： 岡部　信彦 先生**　川崎市健康安全研究所 参与

**「新興再興感染症への日頃からの備え- 感染症、これまでとこれから -」**

**13:40～13:50　休憩**

**13:50～14:20　日本口腔機能水学会　総会**

**14:20～14:30　休憩**

**14:30～15:00　第 28 回日本口腔機能水学会学術大会　招待講演 2　泉福 英信 先生**　日本大学松戸歯学部　教授

「静菌、殺菌、口腔バイオフィルム抑制における検討」

**15:00～15:05　閉会式**　挨拶：　井上 一彦　日本口腔機能水学会会長・第 28 回学術大会長

## 2026 年度（第 3 回）機能水記念賞の授賞式の開催について

機能水記念賞は、「機能水分野の振興に関し、公益性または共益性の高い功績を挙げた個人または団体を表彰する」目的で、（一財）機能水研究振興財団の創立 30 周年を記念して設けられました。これまで 2024 年度（第 1 回）は（一社）日本電解水協会、2025 年度（第 2 回）はアルカリイオン整水器協議会に授与されました。授賞式は東京において年度末の 3 月に開催してきましたが、本年度（2026 年度）は日本機能水学会第 24 回学術大会と第 28 回日本口腔機能水学会学術大会の共同開催の中の 11 月 7 日に行うことを予定しています。






～病原微生物の取扱い・管理者のための公益事業～

# 生物安全 実践講習会

NEW

**第8回 基盤コース** | 2026年12月18日(金) 9:00~17:00(予定)
会場：北里大学 白金キャンパス

**第9回 実践コースB** | 2027年2月25日(木)・26日(金) 9:00~17:00(予定)
会場：北里環境科学センター・北里大学相模原キャンパス

**病原微生物の取扱い・管理のために必要な法令を含めた先進的知識と技術について座学と実習により体系的に学べる講習会です。**

**講師は、豊富な知識と経験を持つ国公立機関・大学等の専門家や企業の実務エキスパートが担当します。**



## 受講者満足度

前回までの実績で、93%以上の受講者の方に満足頂いております。




実践コース日第1～7回
総合満足度調査結果

**主催共催**

公益財団法人 ルイ・パストゥール医学研究センター
一般財団法人 機能水研究振興財団
一般財団法人 北里環境科学センター

問い合わせ先：生物安全実践講習会事務局
（一財）機能水研究振興財団内
TEL: 03-5435-8501 E-mail: pdf@fwf.or.jp
https://kinousui-zaidan.wixsite.com/seibutuanzen

詳しくはこちら

（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター・（一財）機能水研究振興財団・（一財）北里環境科学センター 共催

# 生物安全実践講習会

## 第８回 基盤コース

日時 ： 令和8年12月18日（金） 9:00～17:00

会場 ： 北里大学白金キャンパス
「薬学部1号館 6階 1603多目的室」
［アクセス：東京メトロ南北線 白金高輪駅より徒歩10分］

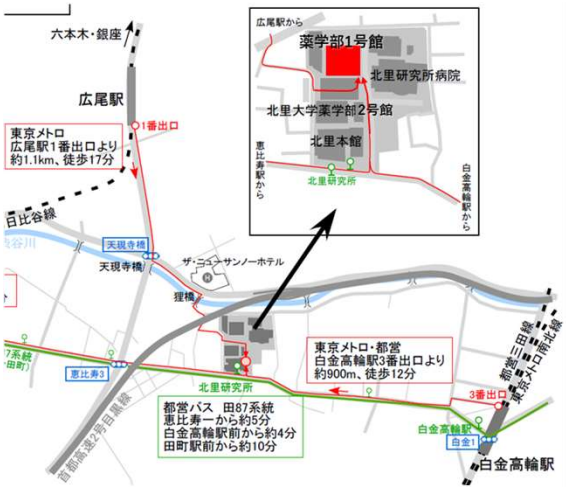
内容 ： 病原体の性状、取扱いおよび管理のために
必要な先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料 ： 20,000円 / 名 （座学と実習のテキスト事前配布）

募集締切 ： 令和8年11月13日（金） ※募集定員に達し次第終了

申込方法 ： 生物安全実践講習会ホームページの「開催案内」より
<https://kinousui-zaidan.wixsite.com/seibutuanzen >

事務局 ： 生物安全実践講習会 事務局（ pbf@fwf.or.jp ）




## 【予定プログラム】

| | 区分 | 題目 | 座学講師・実習指導者 | |
|---|---|---|---|---|
| 午前 | 座学 1 | 感染症概論 | 堀田 国元 | 機能水研究振興財団 理事長 |
| | 座学 2 | 病原体概論Ⅰ -細菌- | 松井 秀仁 | 北里大学大村智記念研究所 准教授 |
| | 座学 3 | 病原体概論Ⅱ -ウイルス・真菌・寄生虫- | 髙木 弘隆 | ルイ・パストゥール医学研究センター 副センター長 |
| | 座学 4 | 感染防御概論Ⅰ -感染経路対策- | 本間 茂<br>立石 亘 | ATPふき取り相談センター<br>迅速検査研究会 |
| | 座学 5 | 感染防御概論Ⅱ –殺菌・消毒- | 岩澤 篤郎 | 東京医療保健大学 教授 |
| | 特別講演 | 生物安全に関わる今知っておくべき新知識・情報 | 菊野 理津子 | 北里環境科学センター 参与 |
| 午後 | 実習 | 衛生的手洗い | ニプロ株式会社 | |
| | | ATP拭き取り検査 | 迅速検査研究会 | |
| | | 個人防護具の装着(マスク) | 興研株式会社 | |
| | | 生菌の顕微鏡観察 | 迅速検査研究会 | |





